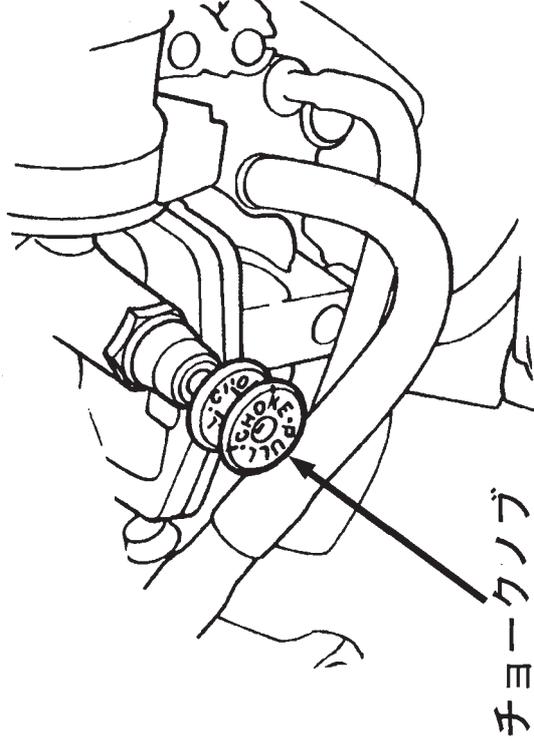


# 正しい運転操作

## エンジンのかけかた

- エンジンが冷えているとき
- 1. エンジンキルスイッチが“RUN”になっていることを確認します。
- 2. 燃料コックレバーが“ON”になっていることを確認します。
- 3. メインスイッチを“ON”にします。
- 4. チェンジをニュートラルにします。  
(車体を前後に動かしてニュートラルであることを確認してください。)
- 5. チョークノブをいっばいに引きます。
- 6. スロットルグリップを閉じ、キックします。  
※ チョークを使用した時は必ずスロットルグリップを戻して始動すること。  
(数回キックしてもかからないときは、“エンジンが暖まっているとき”の方法で始動してください。)
- 7. エンジンがかかったら、回転がスムーズになるまで暖機運転し(普通30秒ぐらい、特に寒いときは2～3分間ぐらい)、チョークノブを完全に戻します。



チョークノブ

- 8. サイドスタンドが確実に格納してあることを確認してからスタートしてください。
- エンジンがかからないときは、73 ページ記載の要領で確認してください。